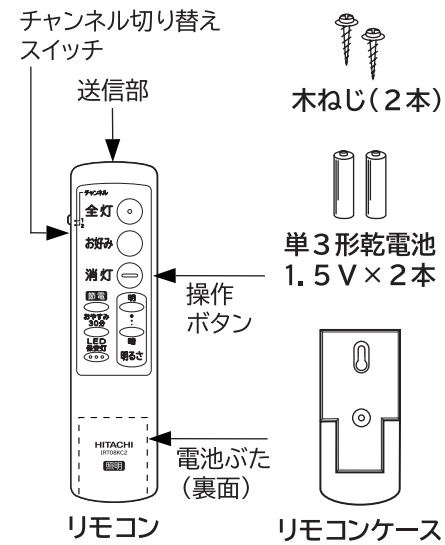


使いかた

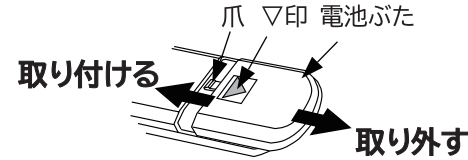
リモコンの操作

各部の名前



乾電池の入れかた・交換のしかた

- 1 リモコン裏面の、電池ぶたの▽印を押しながら電池ぶたをずらして取り外してください。
- 2 付属の単3形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れてください。
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせて▽印を押しながらリモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付けてください。



乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
- ・発熱、液もれ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕ ⊖ 逆接続、ショート、分解、新旧・銘柄・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしない。
- ・液漏れによる故障の原因となるので、長期間使用しない場合は乾電池を取り外しておく。
- ・充電式電池は使用しない。

ご注意

- リモコンの乾電池平均寿命は、1日10回の使用で約1年間が目安です。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱しているので、寿命が短い場合があります。

各ボタンの使いかた

- 操作ボタンを押すとリモコンからの信号が本体に入り、本体から電子音が「ピッ」と鳴り受信をお知らせします。操作ボタンを押しても点灯状態が変わらない時は、電子音が「ピッピッ」と鳴ります。

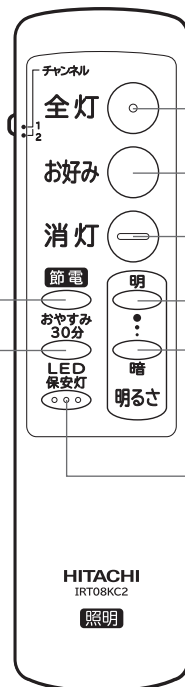
節電ボタン (明るさも変わります)

その時の、蛍光ランプ点灯状態での消費電力から、約15%の消費電力を節電 (動作内容 → P.9)

おやすみ30分ボタン

約30分後に蛍光ランプ・LED保安灯が消灯します。

- おやすみ30分は、ボタンを押して、本体から電子音が鳴れば動作します。
- 蛍光ランプ点灯時に、おやすみ30分ボタンを押すと、約30分後にLED保安灯に切り替わり、約10秒後に消灯します。
- おやすみ30分の動作中に、再度ボタンを押すと、本体から「ピッピッ」と電子音が鳴り、おやすみ30分の動作が解除されます。
- おやすみ30分の動作中に、他のボタンを押したり、壁スイッチを操作した場合おやすみ30分は解除されます。



*全灯ボタン

蛍光ランプが100%の明るさで点灯 (チャンネルの設定にも使用します → P.10)

*お好みボタン

蛍光ランプを明るさボタンで設定した明るさで点灯 (設定の手順 → P.9)

消灯ボタン

蛍光ランプ・LED保安灯が消灯

明るさボタン

蛍光ランプの明るさを100%(明)~約15%(暗)の範囲で、LED保安灯の明るさを100%(明)~約10%(暗)の範囲で調整します。

LED保安灯ボタン

LED保安灯が点灯

*印……所定の明るさになるまで数秒かかる場合があります。

- 6 ハンドルが「ロック解除」の位置になっていることを確認してください。

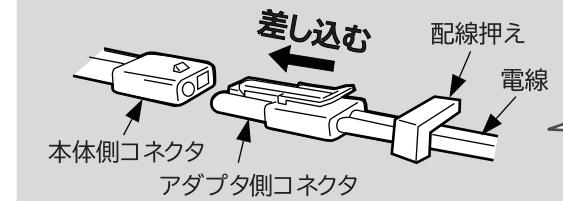
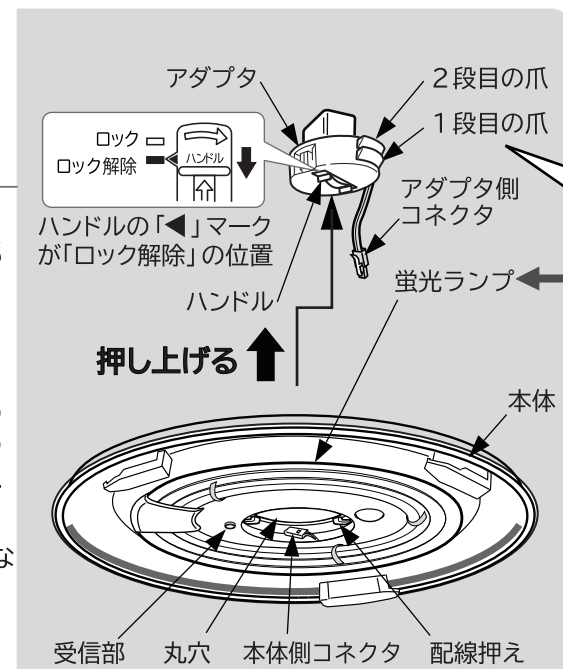
- 7 リモコンをひんぱんに操作する方向に受信部が向くように本体の向きを合わせ、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通し、丸穴をアダプタに合わせて、アダプタ両側の爪に掛かるまで押し上げてください。

※蛍光ランプに、無理なちからを加えない。

本体がガタつく場合はさらに押し上げてください。(爪は上下2段あります。)

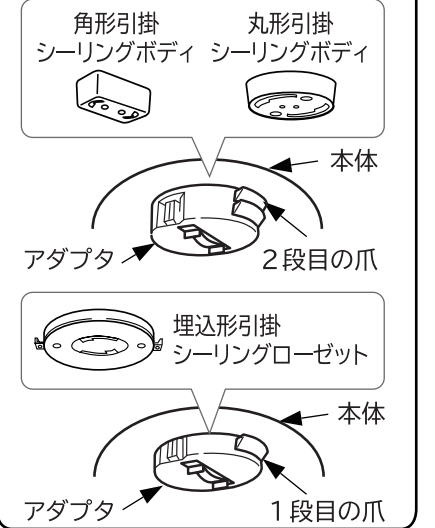
- 8 ハンドルを「ロック」の位置にずらしてください。

- 9 アダプタ側コネクタと本体側コネクタを接続し、電線がたるんでいる場合は、電線を「配線押え」に引っ掛けてください。



- 天井に付いている配線部品により、本体に掛かる爪の位置が変わるので、必ず下の図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する。

※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



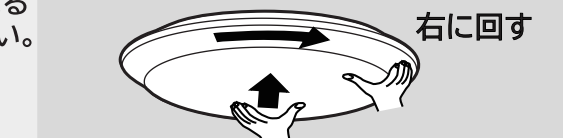
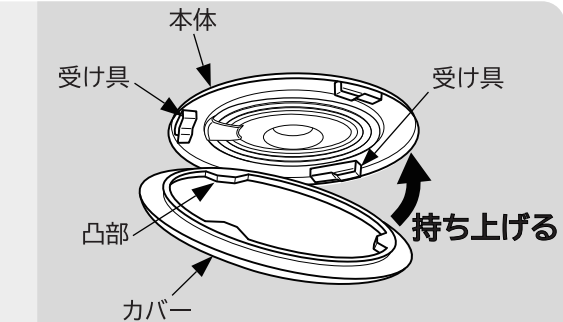
- 蛍光ランプに、無理なちからを加えない。
- ※破損によるケガや落下の原因となります。

- コネクタや電線を無理に引っばらない。
- ※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

カバーの取り付け

- 10 本体の受け具と受け具の間にカバーの凸部を合わせ、カバーを持ち上げて、本体にかぶせてください。

- 11 押し上げながら、止まるまで右に回してください。



- カバーを正しく取り付けた後は、カバーを無理に回さない。
- ※器具の破損、落下によるけがの原因となります。

- 取り付け後、カバーを軽く下に引っ張り、確実に取り付けられているか確認する。
- ※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。